

玉掛用具を起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種（小）	事故の型	労働者規模
2017	1	8～9	場内路盤作業を行うため、仮設敷鉄板の搬出作業に取り掛かった。ワイヤーをバックホーに掛け、吊り上げたところフックが外れ、被災者が作業半径内にいたため、左足骨折及び右上腕負傷をした。	64	30110	6	50～99
2017	1	6～7	当社事業所にて、トラックに重機のバケットを搭載作業中に、バケットのチェーンが突然切れて、バケットを支えていた手にバケットが落下し、左手の環指及び中指に骨折等を負った。	62	30209	4	—
2017	1	10～11	車庫内で山留材（H鋼加工品）が締結用金具を使って縦2本1組の状態のものを、レンフロクランプで上段を掴んで吊り上げたときに、締結用金具が外れて下段の1本が自身の左足先に落下した（本人リモコン操作、資格有）。	44	40301	4	100～299
2017	1	0～1	防護鉄板を吊り上げる際、吊り上げ金具がゆるんで外れ、支えていた左手を鉄板と鉄板の間に挟み、負傷してしまった。	25	30199	7	—
2017	1	11～12	道路上で、俯せに下ろしてあったベンチフリュームを仰向けにするために掛けたワイヤーのフックが、完全に掛かっていることを確認していなかったために外れて足の上に落ちた。	68	30199	4	1～9
2017	1	1～2	事業所工場内のオートボラー作業場所に於いて、穴あけ後の鋼板（25×250×1000≒50kg）をマグネットを用いて移動する際、鋼板をマグネットの接着面にゴミ（カス）の介在、鋼板センターから偏心して取り付けたため、鋼板のバランスが崩れて落下し、	25	11209	4	30～49

			その際に右足のすねを負傷した。				
2017	1	15～ 16	工場内にて、溶接加工製品の重石用に使用する鉄板（83cm×77cm×厚12cm、約600kg）を使用後、天井吊下式クレーン（2.8t）で吊り上げ保管台に収納しようとした際、鉄板が手前に倒して収納する為、吊り上げて調整しようとしたところ、鉄板を吊っていたワイヤーが老朽化により切れてしまい、鉄板が手前に倒れ保管台の上に乗っていた右足を挟まれ、右足甲を骨折した（安全靴着用）。	63	11209	7	1～9
2017	1	13～ 14	塗装場において、クレーンで部品を釣り上げて塗装作業をしていたところ品物がクレーンからはずれ、咄嗟に右手を引っ込めたところ、何かに当たり、右手甲を裂傷した。	63	11301	3	10～ 29
2017	1	11～ 12	工場内にて、トラックからの荷下ろし作業中、ハッカーにて平鋼（3m×15cm）重量135kg×3枚を持ち上げる際に片側のハッカーの爪が引っ掛かり平鋼が両足の上に落下し負傷した。	36	11209	4	10～ 29
2017	1	12～ 13	工事現場内にて、敷鉄板を0.7tバックホウ（クレーン仕様）で荷卸し中に、吊り金具が外れて作業員の左足脛に倒れた。	33	30108	5	—
2017	1	13～ 14	当社工場中子造型場にて中子（640kg）反転作業中、中子を吊っているチェーンスリングが外れ中子が転倒し、左足膝辺りに中子がぶつかり負傷した。	37	11301	3	50～ 99
2017	1	9～ 10	被災者他3名は、鋼管杭に据え付ける鋼製丸蓋を引船から起重機船上に移動しようとした。事前準備として岸壁から引船へ仮置きする際に鋼製丸蓋は重ねて（Φ800mm×17枚、Φ740mm×27枚）置き、すぐに吊れるようスリングベルトを大目にしていた。引船が起重機船に接岸後、被災者はクレーンオペレーターに合図を送り、スリングを用いて地切りした。被災者は玉掛後、約3m離れ次の作業に移っていたが、高さ約2m付近で荷崩れを起こし、一旦引船甲板の上に落下後崩れ、被災者の左足に当たり負傷した。	69	30111	6	10～ 29
			当社内ハンマー3号ラインにて、金型ホルダーの分解点検後、ホル				

2017	1	15~ 16	<p>ダー組付作業中、ラムとホルダーの基準面に、入れてあるライナーを胴突で挿入しようとしていて、ライナーの下に胴突が入り、胴突を持っていた左手中指をライナーと胴突の間に挟まれ負傷した。原因は、通常は片手ハンマーを使用して行う作業を、胴突治具が手元にあったのでこれを使って作業し、高さの目測を誤り、そのまま突く作業を行ったためである。</p>	37	11001	7	30~ 49
2017	1	14~ 15	<p>工場内アウトリガー組立9Tにおいて、製品のアウトリガーインナーケースをクレーンで吊り上げ時、インナーケースが不安定に動いたため動きを止めようとして吊り上げ、治具に左手をかけたために治具の可動部に左手小指を挟まれて負傷した。なお、当日は1人作業であり、爪1/3ぐらいが残った状態である。</p>	61	11301	7	100 ~ 299
2017	1	8~9	<p>当社工場内にて、巾1.5m、長さ4m、板厚（6m/m×4枚＝24m/m）、重量1140kgの長方形の板を移動中、吊り具が外れ、アゴ部分に吊り具部品が当たり、口元と口腔内を負傷した。</p>	30	11209	4	30~ 49
2017	1	16~ 17	<p>土捨場の場内にて、4tユニック車で資材の片付けをしている時に、コンクリート基礎（45×45×45cm）をワイヤーで吊り上げようとした時に、ワイヤーを持ってしまいコンクリート基礎の間に挟まれ、左手親指を骨折した。</p>	20	30309	7	—
2017	2	9~10	<p>該者は、団体の従事者として従事しており、事故当時は作業使用船の片付け作業中、船尾に取り付けていたロープリールの取り外しの為、左舷側陸上から車輛ユニックで吊り上げていたところ、吊り上げに使用していたロープが切れ船体甲板から約150cm位の高さからロープリールが斜めの形で真下の甲板上へ落ち、その勢いで右舷側に転がり右舷端にいた該者の胸辺りがロープリールと右舷船体に挟まり負傷したものである。</p>	60	30111	4	—
2017	2	13~14	<p>工場内で天井クレーンにて柱材を吊り上げ中、玉掛ワイヤーの長さの選定ミスにより、吊り荷が振れて架台に当たり、その架台が不安全な位置で操作していた被災者側に倒れて、被災者の足を挟</p>	44	11209	7	10~ 29

			み負傷した。				
2017	2	11~12	工場内製造一課にて冷凍スリ身をブロックカッター機械で裁断していたが本来ならスリ身を戻さないが、きちんと切れなかったため押し戻した際、上から降りてくる刃に指が触れ右手人差し指骨折裂傷してしまった。	46	30201	4	1~9
2017	2	18~19	自社工場内において、時間外でメッキ処理準備作業中、鋼鉄製ベースプレート（980mm×1200mm×15mm、重さ約135kg）の表面ねじ穴にアイボルト（治具）を1点取り付け、天井クレーンで持ち上げ移動しようとしたところ、治具がねじ穴の奥まで入っていなかったため、約75度まで傾いたところで外れて倒れ、下に置いていたベースプレート在庫との間に右手薬指先端部を挟み負傷した。	35	11204	4	10~29
2017	2	15~16	個人宅の裏法面土止め柵工事で、資材H鋼を2人で運び掘削した穴に投入するため、H鋼片方にワイヤーを結びクレーン仕様のユンボで1.5m位起こし引き寄せるため、作業員に退避する指示を出し実施したところ、待避位置が不十分でワイヤーから抜けたH鋼が作業員のヘルメットを押し上げ、体と共に、段差40cmある家の隙間に倒れH鋼が頭にあたり救急車で運ばれた。	62	30199	4	1~9
2017	2	13~14	フレーム（鋳物）約250kgを作業台の上に載せて面取り作業を行っていた。フレームを立てた状態での作業を完了してフレームを横にするためフレームに吊り具を通して吊り上げた。フレームを30cm吊り上げた状態で作業台の上を右手で拭いていた時、吊り具がフックから外れてフレームが作業台の上にあった右手の上に落下した。原因はフックがしっかり掛かっていなかったため吊り具が外れた。	47	11209	4	10~29
2017	2	1~2	当社にてクレーンを使い架台（重さ1t）を反転させている際、スリングベルトを掛ける位置が架台の重心でなく片寄ったところに掛けてしまい、クレーンで持ち上げたところ架台が傾き、止めよ	41	11301	7	30~

			うと手を出したところにスリングベルトが滑ってきて、架台とベルトの間に左手が挟まれた。				49
2017	2	10~11	被災者Aを含む15名でミーティングを実施した。キーロックを完了後、被災者Aを含む5名でTBM・KYを実施した。まず、チェーンブロック2台で下スピンドルのスラストメタル（以下SM）抑えの仮吊りを実施し、取り付けボルトをガスで切断した。その後、入側からSM押さえを吊り出すために、出側チェーンブロックを巻き下げた後、出側チェーンブロックのフックを取り外した。次に、入り側チェーンブロックを用いてSM押さえを下スピンドル上端付近まで吊り上げた後、天井クレーンによる吊り上げを行った。すると、天井クレーンでSM押さえを吊り上げ中に、SM押さえの下端部が上スピンドルの軸受に引っ掛かり、吊りピースが破損しSM押さえが落下し、被災者Aの左手に当たった。	20	11001	4	1000 ~ 9999
2017	2	14~15	山の斜面にて荷掛け作業中に吊った木が自分の方に飛んで来てぶつかり、斜面を滑り落ちた。	27	60201	4	1~9
2017	2	15~16	鉄工所加工場土場で、トラックに製缶品を積込作業中、天井クレーンで吊り荷を移動させ、荷台に降ろす際に補助の手を避けるのが間に合わず、左手小指を挟み裂傷及び骨折した。	48	40301	4	10~ 29
2017	2	11~12	作業道脇に集積した間伐材を、フォワーダに積込作業中、被災者がバックハウ（グラブ付）に玉掛けワイヤーを取り付ける際、オペレーターが誤って、グラブを閉じたため右手をグラブにて挟み負傷した。	41	60209	7	10~ 29
2017	2	10~11	第二製缶40tヤード南側にて材料を置く場所を確保する為、天井クレーンにて自社製支柱の片付作業中、仮付け溶接にて床に固定した自社製支柱を玉掛けし、自分で吊り上げ物を押さえながらクレーンで吊り上げたところ、仮付け溶接が破損し、自社製支柱に掛けていたチェーンフックが勢いよく跳ね上がり、被災者の下顎	52	11209	4	50~ 99

			に激突した。				
2017	3	16~17	震災による墓地修復作業で移動式クレーン現場用を使用中に、碑石の上台を吊り降り取付け時にクランプの吸盤が滑り、上台が落下して右手を挟んだ。	31	10909	4	1~9
2017	3	8~9	工場内でクレーンとクランプ1個を使いCT鋼1本を運ぶ作業中、CT鋼が落下し、後方へ倒れ後頭部を打ち負傷した。	47	11209	4	10~29
2017	3	14~15	会社で機材積降段取作業中、受材の修正を行おうとして、鉄板の吊り場際（高さ120mm）で玉掛が外れ、鉄板の下に手を入れてしまい、右手を打った。	23	30302	4	10~29
2017	3	8~9	スクラップヤード内にて、シャーリング作業の準備をしているとき、長方形の板材料（7枚位、約250kg）を140cm位の高さで吊り上げ、移動する際にワイヤーが切れて材料が落下し、右太ももに当たり負傷した。原因は、古いワイヤーの使用と不注意である。	44	80109	4	10~29
2017	3	16~17	7t積載ユニックにて、現場から積載した踏板（網性1枚約17kg×40枚（500mm×1800mm）約700kgで1束）を荷下ろしの作業中、クレーンで吊っていた荷のワイヤーがはずれ地面に落下し、その荷が地面ではね返って自身の顔面（アゴ）を直撃した。被災者が1人でクレーン操作を行い、玉掛の仕方がよくなった事が原因と思われる。	46	40301	4	10~29
2017	3	7~8	工場内において、試験室前にあったテストピース（コンクリート製、直径10cm・長さ20cm・重量約4kg）を移動しようとしたところ手から滑り落ち、右足親指に当たり剥離骨折した。	60	10909	4	1~9
2017	3	7~8	自社工場内にて、作業しやすいように枕木を置こうと、鋳物を20cm程度フックで吊り上げ、左腕を鋳物の下に入れたとき、鋳物からフックが外れて枕木と鋳物との間で腕を挟んだ。	54	11002	4	10~29
			被災者と作業員A（4tユニック操縦者）、B（被災者）にて自社資材の片付け作業を開始する。4tユニックに荷吊りをはじめた際、				

2017	3	17~18	被災者は介錯ロープが絡まっている事に気付き、咄嗟に外そうとして手を出す。被災者の右手親指に介錯ロープが絡みついたが、作業員Aはそのことに気付かず、ユニックのブームを起こす。被災者は指に絡まった介錯ロープに引っ張られ、右手親指のみで吊られ、地面に落ちる。地面に落下した被災者は、右手に違和感を感じたので手袋を外してみると、右手親指の第一関節上部より切断していた。	21	30309	7	1~9
2017	4	10~11	作業場にて製品（鉄骨柱、重さ4.8t、長さ約10m、幅約2m）をクレーンで反転させる際、左手でクレーンのボタンを操作しながら、右手で鎖状の吊り具の位置を調整していたところ、右手が柱材と吊り具との間にはさまれた。	27	11209	7	10~29
2017	4	11~12	当社の畑で伐採木の積み重ね中、パワーショベルのハサミ（アタッチメント、挟む用）使用時にワイヤーをはずす際、右手中指先を挟んだ。	39	30199	7	1~9
2017	4	11~12	下水道工事現場で、仮設資材片付として敷鉄板撤去作業中、鉄板吊具の装着状態が不完全であったため（玉掛け作業の確認不足）、鉄板が倒れ受傷した。	44	30106	5	1~9
2017	4	10~11	防水槽の漏水の原因調査業務に行った被災者が、他業者が実施していた防火水槽内部の防火水を仮に貯める仮設水槽の設置作業で、敷き鉄板の揚重時にフックが外れそうになった事に気がつき、自分で直そうとフックを揺らしたところフックが外れ、敷き鉄板が被災者の方向に倒れてきて被災した。	30	80109	4	1~9
2017	4	16~17	仮置場で、0.7?級バックホウをクレーン仕様で使用し、オペ1名と玉掛者と被災者（補助作業員）でトラックから荷降ろしを行っていた。オペレーターは玉掛者から荷降ろしをする合図があったのでバックホウのブームを下げたところ、吊りワイヤが滑り吊っていたU字溝のバランスが崩れた。被災者が荷振れを止めようとして、吊荷に対して左手をかざしたところ、右手を仮置き済みのU字	64	30106	4	30~49

			溝の上に置いた時、静止してなかった吊荷を仮置き済みプレキャストU字溝に右手親指を挟み負傷した。				
2017	4	10～11	工事現場において、1階の屋根から2階の屋根へ、幅1,820mm、高さ220mmの鉄製の屋根材を引き上げていた所、材料をくくっていた結束バンドを2階の者が掴んだ瞬間に切れて、材料が真っ逆さまに落下し、1階屋根にいた被災者の左足つま先を直撃して骨折した。	38	30202	4	1～9
2017	4	15～16	取引先の工場内で、荷物を3人（LNS2人・本人）で天井クレーンで吊り上げた際に片方のワイヤーがフックの外れ止めから外れ、左足の指先全体に落下し、指先全体が壊死状態になった。また、落下の際に左手指先に接触し、指先切断となる。クレーンペンダントは本人が持っていた。	34	40301	4	10～29
2017	4	15～16	工場敷地内の側溝の溝を掃除する為に、ワイヤーを使って側溝の蓋を持ち上げた時に、ワイヤーがずれてしまった為側溝の蓋がワイヤーから外れそうになり、とっさに手を差し出したところ、落ちてきた側溝の蓋と地面の間に左手が挟まり、左手中指が少しえぐられてしまった。	41	10102	7	100～299
2017	4	16～17	倉庫内で納入されたグレーチング（550mmの正方形、厚さ2cm、重さ16.2kg）3枚（厚さ0.5mmの鉄のバンドで縛ってある）を鉄のワイヤーロープ（長さ1.5m）で吊り、天井クレーンで移動させ既に積み重ねて置いてあったグレーチング（縦700mm横1m）高さ約1mの上に置く作業をしていた時、鉄のバンドが切れて左足の甲の上に落ちてきた。	57	80109	4	30～49
2017	4	8～9	当社倉庫内において、TP-R（パイプ）4mをクレーンにて搬入車両から荷下ろしする際、ロープの掛け位置が悪く、重心がとれていない状況下で作業し、パイプが傾いたところ手で支えられずパイプ端部で指を切傷した。	26	80109	8	1～9
			平屋建ての建物内部からALCパネルをウインチにて吊り上げ作業				

2017	4	13～ 14	中、両端型ナイロンスリングで吊り上げたパネルが不安定な状態にならないよう介錯ロープを使用して誘導作業していたが、吊り荷直下に足がある状態で作業をしていた時にスリングが破断し、右足上にパネルが落下した。	46	30201	4	10～ 29
2017	4	16～ 17	被災者は当日自社資材置場にて、資材の片付整頓をする作業を行っていた。集水桝を移動し置こうとした際、集水桝に胴巻をしていた玉掛けワイヤーが上方に滑り、資材を支えていた被災者の足に乗り右足を負傷した。	46	30106	4	10～ 29
2017	4	14～ 15	工場内にて、加工品の向きを変えるためベルト2本でつり上げていたとき、片方がずれて左足に落下した。	65	11209	4	10～ 29
2017	5	14～ 15	作業員2名で作業打合せをし、民家の敷地内にある古木丸太（長さ4m×木口25cm）を被災者が単独でチェーンソーで枝払い作業をし、もう一人が掘削機で丸太に台付けワイヤーロープを掛け地切りをした時、吊っていたワイヤーロープの撚りにより丸太が回転し、被災者の背後から左足脛部に当たり骨折した。	57	30199	6	10～ 29
2017	5	13～ 14	下水道管改良工事の道路上において、管路土留工の軽量鋼矢板打設作業中、計量鋼矢板1枚を吊り上げて打設位置に旋回移動したところ、ワイヤーロープから軽量鋼矢板が抜け落ち、背を向けて作業をしていた被災者の肩に当たり、鎖骨及び肋骨を骨折した。	52	30110	4	10～ 29
2017	5	10～ 11	機上部車庫内で敷鉄板（6m×1.5m×22mm、重量1.6 t）を16tラクタークレーンで仕分けの為オペレーターと被災者で敷鉄板の揚重作業を行っていた。被災者が玉掛けを行い、クレーンで敷鉄板を起こし、地切りを行った際、敷鉄板の吊りフックが敷鉄板の吊り穴から外れて被災者側に取れ、挟まれた。	70	80409	7	30～ 49
2017	5	15～	被災者は同僚と二人で土場で資材の片付け業務に従事していたが、鉄板（240cm×120cm×18mm、重さ510kg）の移動作業中、挟み式金具でロックした鉄板をクレーン仕様のバックホウで吊り上げ、被災者の誘導に応じて移動位置に下ろした時、ロックがいき	67	30199	6	10～

2017	5	13～ 14	耐震補強工事（その5）の現場において、P28とP27の間に仮置きしていた鉄筋（D35、D38、L7m）を8本結束し、10tラフタークレーンにて吊り込み、P28へ移送している際、1本の鉄筋が斜めになぜかずれているのに気づき、吊ったまま直そうとしたところ、鉄筋に左薬指の先端を挟まれ挫創した。	44	30105	7	1～9
2017	5	14～ 15	第2工場T棟において、床面にH方向に置かれていた溶接ビルドエイチ部材（以下BH）を、10tクレーンでワイヤーチェーンに3tハッカーを取り付け、BHのウェブの片側1ヶ所にハッカーで玉掛けを行った。左手でクレーンリモコンを操作し、巻き上げ片側を地切りさせ、床とBHフランジの間に出来た隙間に右手で持ったリングを差し込んだ時、ハッカーが抜けBHフランジとリングに挟まれ被災した。	61	11209	7	1～9
2017	5	15～ 16	当社作業場において、トラックから荷物（約2t）を下ろしていたところ、荷物に巻いてあるチェーンを外してチェーンを巻き上げる際、左環指が挟まり負傷した。	26	30309	7	10～ 29
2017	5	13～ 14	エプロンにて、岸壁上に置かれたワイヤースリング数十本を埠頭クレーンで吊り上げ、更に本船荷役の邪魔にならないようにスリングの片側にロープを掛け、4名で引っ張りながら上屋の入り口の内部方向へ引っ張っていたところ、突然ロープが外れ4人共に後ろへ転倒した。このうち1名が後方に保管されていた巻紙で左肩を強打し負傷した。	62	50202	2	10～ 29
2017	6	14～ 15	当社第三工場にて、FB・山形鋼・C形鋼の加工機械で、C形鋼の切断・穴開け作業中に、C形鋼を移動しようとした時、2本かみ合わせ状態の材料（長さ12m幅）を山形鋼専用ハッカーを使い吊り上げた為に途中で外れ落ち、膝元へぶつかりそのまま倒れ込み、膝が材料の下敷きになり負傷した。	57	11209	4	10～ 29
		11～	新築工事（第2工区）において、鉄塔基礎A脚の掘削土搬出作業中、クレーン仕様のバックホーで吊りワイヤーフックを用いて吊				

2017	6	12	り上げたトンパックがフックから脱落、落下し、荷の下に入ってしまった被災者が下敷となった。	27	30209	4	1～9
2017	6	15～ 16	製缶場で、製品をクレーンで移動させている時に、玉掛けしていて、注意を怠り、ベルトに指を挟んだまま吊り上げてしまい、指を負傷してしまった。	73	11301	7	10～ 29
2017	6	16～ 17	自社の橋形クレーン（吊り上げ荷重2.8t）をリモコン操作で鉄骨階段の製品（幅1m、長さ4.5m、重さ300kg）3台を輸送用トラックに積み込み作業中、1台を積み込んだ後に1台ずつ積み込むべきところを、2台を重ねた状態で吊り上げ移動させたため、バランスが崩れてつり具が外れ、落下した製品が頭部に接触し、負傷した。	58	11209	4	10～ 29
2017	6	8～9	工場内において溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテルハクレーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲の上に落ちて負傷した。	33	170101	4	10～ 29
2017	6	8～9	弊社第7工場内にて溶接作業中、鉄パレット（鉄製フレーム）をテルハクレーンにて吊り上げ、90度回転させようとした際、フックが正しく引っ掛かっていなかったため、パレットが滑り落ち、足の甲へ落下した。	33	11209	4	50～ 99
2017	6	17～ 18	工場のプレス型修理場で、天井クレーン修理後の動作確認をする為に、作業指導者1名、クレーン操作者1名、玉掛作業員2名が型周囲に立ち、玉掛作業をしている時に、クレーン操作者は玉掛作業が終わったと思い、また、作業指揮者の合図を待たずにインチング作業をし、吊り上げ張られたワイヤーと型の間で左手薬指を挟まれた。	56	30302	7	1～9
2017	6	11～ 12	ヤードにて、H鋼の加工の為に吊り具で吊って移動させようとしていた際に吊り具が外れ、吊っていたH鋼が自分の方に転んで右足に当たり、右足親指・人差し指・小指を骨折する怪我を負った。	41	11209	6	1～9

2017	6	13~ 14	工場内でスクラップを移動式（床上）クレーンを用いて降ろす作業中、吊り具の荷に合わせた調整が不十分であった為、スクラップが吊り具から外れて落下し、左手が下敷となった。	67	11209	4	1~9
2017	6	7~8	工機工場（第二工場）内において、バツカン（金属の箱）に小口の鋼材を入れ、そのバツカンをハッカーにて吊り上げて移動しようとした際にバランスを崩し、バツカンごと右足に落下し、親指・人差指・中指を複雑骨折した。バツカンをハッカーにて吊り上げた時に、ハッカーが滑り外れたと考えられる。	23	11209	4	50~ 99
2017	6	8~9	工場において、クレーンを利用してトラックにH型鋼を荷積み作業中、チェーンに左小指を挟み負傷してしまった。	39	11209	7	10~ 29
2017	6	10~ 11	形鋼水切作業中、ワイヤーロープを引っ張っている際に、左肩に負荷が掛かり負傷した。今後の対策として、無理な体勢で作業をしないよう指導し、事故の再発防止に努める。	56	50202	19	30~ 49
2017	7	13~14	当該作業場ブロック布設作業に於いて、バックホウ（移動式クレーン仕様）0.5?級にて、横帯ブロック（1.34t）吊上時に、吊荷重心が合わず荷が振れたため、オペレーターが再度吊り直しを行うために吊り荷を降ろしたと同時に、被災者が振れを抑えようと手を伸ばしたところ、降ろした横帯ブロックと地面の接地面が合わずに、被災者の方向へ横帯ブロックが倒れ足が下敷きになり負傷した。	44	30107	7	10~ 29
2017	7	11~12	工場内の作業で鉄板を吊っているときにクランプから鉄板がはずれ足に落ちた。	56	11209	4	1~9
2017	7	17~18	工場に入りユニックを使って荷積みを始める。荷台の上の製品にリングを重ねて積もうと思いリング2枚（1枚約90kg）重ねて、下のリングのわきにボルト2ヶ所に取り付けて吊り上げ旋回し本体上に上げる時、重なってるリングが動いたため、咄嗟に左手で支えようとして上のリング1枚が左手に落ちた。原因：1枚2点吊りで不安定なのに重ねて吊り上げた。	60	40301	4	100 ~ 299

2017	7	9~10	民間の建屋解体工事現場で、大型土のうをバックホウ0.25?（回転フォーク付）にて吊り上げようと操縦中に、ヒモがはずれそうになったので、補助作業をしていた被災者が回転フォーク内に右手を入れてしまい右手全体を挟んでしまった。	33	30309	7	1~9
2017	7	11~12	工事において、リチャージウェル撤去段取り作業中、定規鉄板を設置したのち、1.5?の水タンクを吊るために吊具を装着したままクレーンを6m移動した。被災者は、玉掛のために水タンクの位置に移動した。クレーン移動完了後、子フックを下げた時に、吊具が子フックから外れて落下し、被災者の右腕及び右手にぶつかった。	67	30106	4	1~9
2017	7	15~16	店内客席フロアにて、お盆に乗せた土鍋料理を提供する際、お盆のバランスを崩し、料理が足にかかり負傷した。	51	30201	7	1~9
2017	7	13~14	作業場において、新築工事（元請）に使用する鉄板をパワーショベルを使用して、貨物車に積み込む作業中、鉄板を積み込む際に使用するフックを誤って外してしまい、落下した鉄板に右足の甲から先を挟まれてしまい骨折してしまった。	68	30202	3	1~9
2017	7	14~15	派遣先場内で3.5m×2.5mのフレーム枠の上部を吊りクレーンで10cm程持ち上げたところ補強として仮溶接してあった長さ3.7m重さ35kg程のL字アングルに負荷がかかり外れ2m程の高さから両足に補強アングルが落下し両足の甲を負傷骨折した。	42	170101	4	100 ~ 299
2017	7	11~12	プラントの場所でフルイ機の移動のため運搬車に積込中に玉掛を施工していてワイヤロップがはずれ本人と同時に転落した。（H=3.5m）	54	20202	1	1~9
2017	7	16~17	本社工場内で架台（長さ7m横2.5m厚み15mm重量約1t鉄材）の溶接作業をしていた。反対側に向きを変えようと天井クレーン（2t）を使ってつり上げたところ、クレーンのベルト（巾3cm長さ50m布製）が2m位上がったところで切れ架台が倒れ下敷きになって両足を挟まれ負傷した。	46	11301	4	10~ 29

2017	7	12~13	荷受け現場にて、ユニック車のクレーンを使い回収荷物を同車両に積み込み作業中、ブームを起こした際に荷が傾き荷崩れを起こしそうになったため、2メートルほど離れた位置にいた被災者がとっさに荷物を支えようと近づいたところ、吊っていたスリングベルトがすり抜け、荷が落下した際に被災者にぶつかり受傷した。	23	40301	4	30~ 49
2017	7	10~11	大規模改造工事にて、学校関係者専用駐車場を2日間の予定で南側グラウンドに設置をする作業で、敷板鉄板6m×1.5m×厚み22mmを昨日の続きで敷き詰める作業にて、手前から順番に敷いて左側21枚目の鉄板が隙間調整で鉄板の片隅にフックを掛けて5cmほど上げた、下に敷いたブルーシートが中にずれたので、とっさに、ブルーシートに手を伸ばした時フックが外れ、右手の甲に落ちて負傷した。	66	30201	4	1~9
2017	7	15~ 16	砂でできた鋳型より製品を取り出しホイスト式クレーンで吊り移動させる際にフックのかける位置が悪く製品が足に直接落下し右足の甲を被災した。	60	11102	4	10~ 29
2017	7	14~ 15	重トレーラ製缶職場で、重トレーラメインレールを吊り上げるため、メインレール専用吊り具（重さ約23.35kg）をクレーンフックに掛けようと、胸の高さ（約1.2m）まで持ち上げたとき、吊り具の重さに耐えきれずに右足首に吊り具を落としてしまい打撲した。	19	11502	4	100 ~ 299
2017	7	9~ 10	被災者は、作業長・作業副長とTBM-RKY後、電柱の抜柱作業に着手した。電柱に玉掛けワイヤーを取り付け、建柱車にて吊り上げ、同時に抜柱機にて電柱を地際から60cm程度浮かせたが、電柱が抜けなかったため、玉掛けワイヤー位置の変更と抜柱機の取付替えを行った。オペレーターは電柱を軽く揺さぶり、沈み込みの無いことを確認し、建柱車のウインチを緩めた。その後、被災者は玉掛けワイヤーを電柱の正規の吊り位置に変更するため、新設	41	30301	7	30~ 49

			柱側から昇柱し、玉掛けワイヤーを付け直し、建柱車フックに引っ掛けて位置合わせをしているときに、電柱が40cm程度ずれ落ち、電柱と玉掛けワイヤーの間に指を挟まれ負傷した。				
2017	7	16～ 17	直径140mm・長さ1700mmの鉄の丸材をワイヤーで吊り上げるため、まずワイヤーを鉄材の下に通すため、マグネットにて鉄材を吊り、添え木を下に挿入しようとしたところ、鉄材がマグネットから外れ、添え木を持っていた左手が引っ張られて、左腕が鉄材に挟まれてしまった。	39	11301	4	10～ 29
2017	7	16～ 17	商店構内にて玉掛作業時に、吊り具の片側をコイルの内径に掛け、残りの片側を反対側に持って行こうとしたとき、吊り具の重さで戻され、吊り具に左人差し指を挟まれた。	61	40309	7	30～ 49
2017	7	11～ 12	工場内において、チェンブロックで機械を吊って設置する作業中、下でゆっくりと下がってくる機械の微調整しながら設置していたとき、機械を吊っているワイヤーがずれ、機械が傾き、手が挟まれてしまい、右手指を怪我した。	24	30302	7	10～ 29
2017	7	13～ 14	塗装場にて、モーターを載せる鉄の台（150kg）をクレーンで移動させようとしていた際、2ヶ所に引っ掛けていたフックが1ヶ所外れ、バランスを崩して落ち、左足の甲へ倒れてきた。	55	11301	5	10～ 29
2017	7	15～ 16	工場内の作業場で、切断された製品を枠から抜くため、その製品の上に細長い鋼材を片方だけ接地させ、他方をパワーマグネットで吊り上げ、その直下に鉄の当てものを置いた。パワーマグネットの電源を切って落下させ、当てものに激突させた。その衝撃で製品と枠を離そうとしたが、右手で当てものを少し動かしているときに、吊り上げていた鋼材がマグネットから外れて落下し、それと当てものに右手が挟まれ負傷した。	18	11009	4	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	塗装ヤードでクレーン作業中に、H鋼を移動する際、吊り材のかかりが不十分なまま吊り上げてしまい、約50cmの高さから落下し、	34	11209	4	10～ 29

			その反動でH鋼が横転し、足の上に落下した。				
2017	7	10～ 11	行先別に仕分完了した商品を指定置場へ移動したとき、パレットの穴に左足が引っ掛かり、バランスを崩し、右膝を強打した。	37	80109	2	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	空港滑走路増設現場の消波工において、クローラクレーン（150t吊）を使用し、消波ブロック16t型（層積み）の据付作業を行っていた。被災者は吊り降ろした消波ブロックに移り、2本掛けの玉掛けワイヤーのうち1本目のワイヤーを外し、次のワイヤーを外そうとしたとき、消波ブロックが傾き、その影響で2本目のワイヤーがテトラポットから外れて、被災者に接触したためバランスを崩し、下段の消波ブロック上に転落した。	49	30199	1	1～9
2017	9	15～ 16	当社工場内において、乗用車の古いミッションを乗せ替えるため、エンジンをコンクリート床面に降ろして、新しいミッションを取り付け後、エンジンを車に戻す為にワイヤー2本で吊り上げた際、片方のワイヤーのフックが伸びて外れ、ミッションが頭部と額に当たり負傷した。	48	11301	6	1～9
2017	9	9～ 10	牧場にて、飼料タンクに飼料を補充する為、クレーンで飼料を吊った際、ワイヤーが切れて、タンクと飼料に挟まれて腰を打った。	26	40301	4	10～ 29
2017	9	15～ 16	工場内で型板（長さ1500mm幅1930mm厚さ29mm重量約670kg）を使用し曲げ加工を行おうとしていた。天井クレーン（5t）及び縦吊りクランプを使用し型板を縦吊りした状態でペンディングロールの上部ローラーと下部ローラーの隙間に型板の端部を被災者が手で押して差し込んでいたところ、ペンディングロール本体に型板が当たり、縦吊りクランプに掛かる荷重が抜けてクランプが外れ型板が倒れて被災者の頭部に当たり被災した。厚さ25mmまでのクランプを使用し、29mmの型板を挟んだ事、ペンディングロールまでしっかり届かない天井クレーンを使用し	55	11301	4	30～ 49

			てしまった事が原因と考えられる。別の天井クレーンを使用して いけばペンディングロールまで型板が届き、作業員が吊り荷を押 す必要はなかったが、安全よりも作業を急いでしまったのが要因 と思われる。				
2017	9	17～ 18	A2棟組立室6洗浄作業で部品を洗浄後、横に向ける際、部品とナ イロンスリングの間にはさまれ、左手中指右端の欠損した。	22	11301	7	100 ～ 299
2017	9	23～ 24	当社工場塗装ラインにて荷卸し作業中、荷を引っ掛けていた、S字 フックが外れ左目付近にあたり負傷した。	61	11301	4	30～ 49
2017	9	16～ 17	脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。 吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェンブロックで 巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いて いる攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破 断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災 した。	36	30309	4	1～9
2017	9	16～ 17	脱水槽、攪拌軸を吊り上げ搬出するため、4名で作業を実施した。 吊り上げ班2名（被災者）が玉掛をし、5t用電動チェンブロックで 巻き上げを開始した。攪拌軸を1.5m程吊り上げた時に軸に付いて いる攪拌翼が、インターナル管に引っ掛かり、吊りワイヤーが破 断して、攪拌軸が落下した。支えていた2名が軸に当たり、被災 した。	27	30309	4	1～9
2017	9	10～ 11	移動式クレーンを用いて、船殻部材の積み下ろし作業を行ってい た、トラックにロンジ材を積み込んだ後、被災者が補巻きを解 き、クレーン運転士に指示をして補巻きをクレーン上部に戻して いた所、主巻きにかけていたワイヤー4本が被災者の頭上に落下し て受傷した。	45	40302	4	10～ 29
			工場内で、材料をセットする機械（コイラー）に金属加工のため め、材料（重さ500kg・長さ80cm）をセットするためホイストで				

2017	9	9~ 10	吊り上げてセット中に、吊り上げていたホイストのワイヤーが切れて（劣化していた）右足に落ちて右足関節部（踵）を内外果骨折した。	39	11203	4	1~9
2017	9	15~ 16	工場で荷物（レール）を門型クレーンにて吊り上げる時にクランプが不完全なまま吊り上げてしまい、レールが倒れた際にレールと門型クレーンの土台に左足がはさまれた。	35	11209	7	1~9
2017	9	15~ 16	レベラー母材、MSN-CC-ZC60 0.8×245.5×C 447kg、1本をクレーンにて母材置場よりコイルカーまで移動作業中、クレーンにて移動途中操作ボタンの南ボタンと西ボタンの操作間違いを行い、西へクレーンが走行しP-2のアンコイラーDS側へ吊り荷が接触し衝撃で吊り荷が落下、落下中に右手甲と接触し負傷した。	25	11209	4	30~ 49
2017	9	11~ 12	自社の工場内で、クレーンの玉掛け作業中に吊り具が外れて、吊り具が掛かっていた鉄板（約1.5t）が横滑りしてきて、その鉄板が落ちてくるのを避けようとしたが、転倒して足を挟まれた、その際は、特に問題ないと思い、納品のため外出したが、耐えきれなくなり、病院へ連れて行かれた。	32	11301	4	1~9
2017	9	11~ 12	本社倉庫内にて、クレーンで鋼材（チャンネル長さ5.5m）を移動させ、降ろしてワイヤーを外しているときにチャンネルが崩れ落ち（高さ45cm）、左足に当たり、脛骨・腓骨を骨折した。	34	80409	4	10~ 29
2017	9	13~ 14	アングル材2本を天井クレーンで定盤の上に移動していた、2本目のアングル材の移動が終わり、吊り具のクランプをはずしクレーンを巻き上げたところ、同じフックに掛かっていた別の吊り具が、当該アングルにひっかかり定盤の上から落下し、左足の上に当たった。	55	11209	4	50~ 99
2017	9	15~ 16	工場内でクレーンの作業の補助をしている時に、吊具を取り替える為、今付いている吊具をはずし、置いた時に吊具がたおれて、それを支えようとして、左手人差し指を負傷した。	19	11002	5	10~ 29

2017	9	10～ 11	工場内でフランジ（φ136cm×厚さ12mm、重量80kg、ステンレス製）をクレーンで吊り、下ろした際にクランプから外れて右足に当たった。	53	11301	4	10～ 29
2017	9	15～ 16	作業終了にあたり左足をパレット上に、右足はフロアー上にある体勢で右手を伸ばし奥の機械のスイッチを切った、その後あとずさりした時、左足首がパレット上の空フレコンの吊りベルトに引っかかり体勢が崩れ後方に転倒する際、とっさに右足に体重が乗った状態で体をひねった為、右膝蓋靭帯を断裂した。	47	10109	2	10～ 29
2017	10	17～ 18	自社工場内で修理済のベルコンを設置するため4tユニックを使い、ベルコンを台に載せる作業をしていたが、このベルコンを吊っている吊りベルトが切れ台が落下してしまった。その際にベルコンに当たり、台は倒れて足が挟まれ両足首を骨折してしまった。本来であれば荷重に耐えられるかを確認すべきであったが、確認不足のため事故が発生してしまった。	39	150102	4	30～ 49
2017	10	13～ 14	事業所所在地において、バックホーでU字溝クランプを使い積み下ろしの際、片側のクランプが外れ、左手の薬指と小指を擁壁とU字溝の間に挟み薬指を裂傷した。	46	30203	7	10～ 29
2017	10	10～ 11	当社営業所の敷地内にて鋼材の出荷作業中に（鋼材：長さ6m、厚さ6mm、幅10cm、重さ28kg）9枚の鋼材出荷用機械であるグレーンで持ち上げて移動させてた際に、グレーンのリモコンボタンを操作している本人が、鋼材を見ておらず、他の鋼材に引っかかっているのに気がつかなかった。反動でワイヤーから片方はずれてしまい、鋼材のすぐそばで作業をしていて、よそ見をしていたため、鋼材の1枚が本人に当たり怪我をした。	61	80109	6	1～9
2017	10	9～ 10	新築工事事業場において、EVピット鉄骨建て方のための荷降ろし作業中に、トラックより荷降ろしをした際、吊り荷のバランスが悪かった。玉掛け用のチェーン位置を修正した時に、着用していた軍手の先がチェーンクランプに挟まっていることに気づかず、	40	30201	7	1～9

			そのまま荷を吊りあげたときにチェーンクランプと鉄骨資材の間に手が巻き込まれ左中指を挟み負傷した。				
2017	10	15～ 16	会社工場内に於て、グレーンで鉄の品物（約200kg）を吊って溶接作業中、向きを変えようとした際、金具がはずれて誤ってその下じきになり、左腕上腕部及び左眼瞼を切傷、左胸肋骨を骨折する。	44	11209	4	1～9
2017	10	14～ 15	資材倉庫において4Tダンプから敷き鉄板を下ろしたとき、天井クレーンの吊り具が外れ、左足の上に落ち負傷した。	54	30209	4	1～9
2017	10	9～ 10	クレーン作業の補助をしている時にチェーンと材料の間に右手人差し指を挟み、骨折した。	19	11509	7	30～ 49
2017	10	17～ 18	天井用クレーンで鉄板を挟み移動させようとした時に挟み方が不十分だったため滑り落ちてしまい、その時右足の太ももに当たり、その衝撃で右足首を骨折した。	37	11209	4	10～ 29
2017	10	13～ 14	被災者は2倍ハウス解体作業中、屋根部分をユニックにて吊り上げてハウスの床部分をワイヤーと荷締機にて引き上げている際にリン木の支えが強すぎて荷締機のフックが外れたと同時にリン木の支えも外れ弾みで落下したハウス床（約100kg）と地面の間に挟まれ背骨を負傷骨折した。	60	40301	4	100 ～ 299
2017	10	7～8	鯉節製造工程の生切作業中、切終えた鯉を釜茹でするため鉄製のメゴ（正方形の容器）に並べる作業に従事していた。メゴはあらかじめホイストで吊り上げられるようにチェンを付けた台の上に置かれ、10枚重ねられるとチェンをホイストで吊り上げ茹で釜に入れられる仕組みで、吊り上げ担当者は吊り上げ開始の合図を発して安全を確認して作業したが、どうした弾みが被災者は左手をメゴに添えており吊り上げたチェンで指を挟んで負傷した。	28	10102	7	1～9
2017	11	11～ 12	資材整理作業のため25tラフタークレーンを使用し、キーストンパネルを移動する際、吊荷が滑り落ち、被災者の左半身に激突し、はね飛ばされて倒れ込んだ。	24	30201	4	1～9

2017	11	13~ 14	木造共同住宅新築工事現場にて3階床パネル据付作業中、別の作業員がクレーンで荷揚げをした床用パネルの一部が外れて落下してきた資材がぶつかり、体勢を崩して落下した。その際2階床でバウンドして更に階段設置前の床穴部から1階へ落下し、全身を強く打ちつけ負傷した。	73	30202	4	1~9
2017	11	18~ 19	駐車場横歩道内にて、管路埋戻し作業中、土留め材（アルミ矢板）引き抜き作業時、バックホウ（クレーン仕様）のワイヤーとクランプが外れ落下したクランプが被災作業者に当たり左手小指を切断となった。	40	30110	4	1~9
2017	11	13~ 14	当社倉庫において、機材片付け作業のため固定してある鉄製梯子を降りていたところ、下から3段目より靴が滑り床に左足が着いた時に強打し負傷した。帰宅後、痛みが取れないので当日受診した。	37	30209	3	1~9
2017	11	9~ 10	当社工場の型場にて金枠に砂を入れ鋳型を作り、作業している所から2~3mの場所に鋳型を移そうとクレーンに付けたワイヤーを金枠の吊り手に掛け移動しようとしたところ、吊り手の溶接部分が折れ金枠が足に落ち足の指を骨折した。	60	11002	4	10~ 29
2017	11	11~ 12	木製パレットに20個（10個×2）積まれたCチャンネル（200×90×8×33cm）1つあたり重量10kgをクレーンで吊り上げていた。地切りを行ったが50cm吊り上げたところ、フックからワイヤーが外れ積んでいたCチャンネルが崩れ、最上段の1個が右足の甲に落ち負傷した。	27	11301	4	30~ 49
2017	11	8~9	ショット工場型バラシをした製品を吊金具で移動作業を始めた時、外れて右足の上に落ちてしまった。（安全靴を履いていた。）	57	11002	4	10~ 29
		10~	養豚場の糞尿処理場において、糞尿を分離する水切板が固形分を収集する際に移動した。移動を元に戻す為に二人で作業にあたっ				

2017	11	11	た。フックを付けたロープを取り付けて水切板を吊り上げて移動しようとした。しかし、水切板が自重等の影響で吊り上がらず、水切板からフックが外れ、顔面に当たり左眼に受傷した。	58	70101	6	1～9
2017	12	11~12	会社工場内で金型の組み付け作業中、金型部品（アルミダイカスト製、800×1,000mm、約100kg）をマグネットを付け固定式クレーンで吊り上げようとした際に、マグネットの装着が十分でなかったため金型部品が落下し、被災者の右足の上にぶつかり負傷した。	24	11209	4	10～29
2017	12	8~9	発電所取水ダムに魚道を新設するため、型枠組立作業現場において、単管パイプの残材の片付け作業を行っていたとき、長さ4mの単管パイプ45本を被災者が玉掛用ワイヤーロープ（9mm、φ=4m）2本を使用して単管パイプフレーム（100本用）と一体となる様にして、目通し吊りを行い、地切り後に無線機を使用してクレーン運転手に巻き上げの合図を送った。クレーン運転手は足場の陰より単管パイプが見えかけた所で旋回作業を行ったところ、単管パイプが滑る様に抜け落ち、被災者の上に落下した。	46	30199	4	1～9
2017	12	16~17	当社車庫作業所にて、作業場の後片付けをしていた。荷物を50cm程バックホーにより横移動し、荷物にかけたワイヤーを外したとき、ワイヤーに手を挟み、左手中指を負傷した。	47	150102	7	10～29
2017	12	11~12	工場内1階作業場にて、床に鉄板を敷くためクレーン操作中、60度位に傾けたところ、金具が外れた。その際、右足大腿骨の付根部分の骨折、右足踵・踝の複雑骨折、右足脛の裂傷を負った。	53	11209	4	10～29
2017	12	9~10	艙内より、パルプ614t（304ユニット）の揚荷作業を行っていた。艙内には手元作業員3名が入り、2段積されたパルプを吊り具を使用し、レッカーにて岸壁へ出していた。被災者は吊り具が艙内に入ってきた際、その一部を手に持ち、右足を前に出したところ、荷と荷の間（約40cm）に落下し、パルプの角で右脇腹を打ち負傷した。	59	50202	1	100～299

2017	12	15~16	使用済みロープの試験試料準備中、軍手でロープや素線に触っているときに、錆びた線で右手薬指を負傷した。かすかな痛みがあったが、かすり傷だと思い放置していたところ、化膿したため病院へ行った。	41	11209	8	100 ~ 299
2017	12	9~10	工場内トラック荷役場で、トラックからフォークリフトでパイプ艀装品を降ろす作業をしていた際、パイプ数本を固縛したものを、ワイヤーロープを使ってフォークリフトで降ろそうとしたとき、ワイヤーをフォークリフトの爪に掛け、完了の合図をしないうちにフォークリフトの爪が上がったため、ワイヤーロープを持っていた右手中指がワイヤーとパイプに挟まれ負傷した。	69	11209	7	—
2017	12	13~14	中古車販売センター内にて、看板を設置するためクレーンで吊り上げている途中に、地上より1m位の所で突風に煽られ、吊りワイヤーが切れ、看板が落下した際に、誘導者が看板の下に足を挟んだ。	44	11709	4	1~9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html